

白杵市 施策評価シート  
(令和3年度)

評価 担当者	課名	氏名	内線
	農林振興課農林基盤整備室	藤澤 清巳	202

コード	VII-20-48	施策名	多様で健全な森林への誘導
施策の方針	環境にやさしい資源が活かされ循環するまちをつくる		
まちづくりの方針	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)		
5年後のめざす姿	地域で森林を守る意識を高め、森林が持つ多面的機能の維持・増進を図り、健全で豊かな森を増やします。森林を地域で守り、育て、次世代に伝えていくため、「森林・林業の再生」「地域社会の活性化」「森林環境保護」を進めることをめざします。		
施策の内容	市有林の整備を進めるとともに、民有林の森林経営を企業と協働して実施します。また、森林環境譲与税を活用し、未整備林の把握と整備を進めます。		

<指標>

新規 指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	民間事業者と協働して森林管理を行う森林面積【累計】	年間で、森林経営計画の森林所有者との同意形成がとれた面積	目標	ha (ハクタール)	750	820	1120	1220	1320
			実績	673	775	1020			
			達成率	%	103.3%	124.4%			
	森林の多面的機能の維持・増進のための森林整備面積【累計】	市有林を整備した面積	目標	ha (ハクタール)	375	441	507	573	639
			実績	307	430	441			
			達成率	%	114.7%	100.0%			
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					

指標の分析	森林経営計画による森林整備のための合意形成については、目標を100ha/年、市有林整備の目標を80ha/年としていましたが、森林組合等への事業に対する協力依頼や市有林整備事業を計画的に実施したため、目標を達成できました。
-------	--

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R3調査)	検討領域	2.56	1.91
市民意識調査結果分析	令和3年度実施のアンケート結果では、「必要度」「満足度」とともに低く、「検討領域」に位置しており、施策や事業の内容について再考の余地があります。		
	森林整備が市民サービスに直結しないため、必要度が低い結果となっていると思われます。		

<次年度以降の課題>

令和4年度以降の課題	森林整備に必要な予算確保と林業従事者が不足しているため、今後、人材育成や人員の確保に向けた取り組みが必要となります。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R2年度実績	R3年度実績	令和4年度年度見込み			
1 森林整備地域活動支援交付金	モデル地域を指定し森林の保水能力を増進させるよう計画を作成	農林基盤整備室	○	-	-	-	継続	○	
2 市有林整備事業	市有林整備	農林基盤整備室	○	18,337	3,280	10,400	継続	○	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				18,337	3,280	10,400			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	森林木材の資源活用のための「白杵市森林整備計画」に基づいた森林整備及び林業再生に向けた取り組みを推進するとともに、森林環境譲与税を活用した未整備森林の整備も推進する必要があります。また、市有林などの事業量を安定的に確保することで、林業従事者の雇用や森林整備の推進を図る必要があります。	課長評価	目標を達するため、現状維持とする
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

実施年度	令和4年度実施	内部評価	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する
------	---------	------	----------------------------

<白杵市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	強化	評価のコメント	農業者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地が増えている中で、放置された個人所有の農地を利用し、早生樹を植えることができるような仕組みにしてほしい。森林を豊かにすることは、漁業振興にも寄与する循環づくりとなり、重要な事であるため、積極的に取り組む必要がある。
------	----	---------	---

<白杵市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

耕作放棄地を利用し、農地に苗木を植樹する取組みについては、早生樹でも材木となるまでに、20~25年の年限がかかり、個人での取組みは困難な部分があるため、地域や法人・企業等管理体制を構築し、計画を立てて実施する必要があると考えている。また、農地から山林に転用する場合、農業委員会等に確認が必要となっている。